

『臥龍梅』 蔵便り

平成二十三年卯月



謹んで地震災害のお見舞いを申し上げます。

3月11日に発生した東北関東大震災におきまして亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。

千年に一度の大災害と伝えられました。加えて福島第一原子力発電所の事故による二次災害についてはいまだ予断を許さない状態で、大勢の皆様が不安と不自由の中で過ごされておられることと存じます。被災地が一日も早く復興され、被災された皆様が一日も早く平穏な生活に戻られますよう心からお祈り申し上げます。

弊社では、5月15日(日)、北区北とびあにおいて予定していた「臥龍梅を愉しむ会」の開催を諸般の事情から中止することにいたしました。参加を希望しておられました皆様には謹んでお詫び申し上げます。

静岡市では、地震による被害はありませんでしたが、津波警報の発令によって東名高速道路、国道1号線が市内由比地区を挟んで上下線ともに閉鎖されたため、11日の晩から12日の夕刻まで市内全域の幹線道路で車があふれかえる大渋滞となりました。11日の晩に宴会が急にキャンセルされてしまった市内のある料理屋さんでは、仕入れた材料を無駄にするよりはとお弁当をこしらえ、渋滞で車の中で動きのとれなくなってしまった他県ナンバーのトラックの運転手さんに無料で配ったそうです。また、聞くところによると、東京駅の駅ビルで商売をされている料飲店さんたちも、足止めを食って駅ビル内で夜を明かす皆さんに炊き出しをしたそうです。東京や静岡でこのありさまですから、被災地の皆さんのご苦勞は如何ばかりなことでしょう。どうか心を強く持って頑張ってくださいと存じます。

蔵では酒造りが無事終了し、3月24日、蔵人は半年ぶりに郷里の岩手へ帰りました。留守宅は岩手県でも内陸部であるため、幸い蔵人の家族に被害はありませんでした。東北新幹線が不通だったため、どうやって帰ろうかと思案していましたが、運良く羽田・花巻間に臨時便が運行しておりましたので、羽田から飛行機で帰ることができました。



さて、今月は上槽に手間取ってなかなか出荷できなかった**純米吟醸 超辛口**をご案内いたします。こんなときに酒などとんでもないと言われそうですが、時は春、桜の花を肴に臥龍梅を一献傾けながら、暫し現し世の憂いを忘れてお楽しみください。

平成 23 年 4 月

鈴木克昌